

### 人生をより楽しむための条件がそろったホーム

「人生を楽しむために、早めに入居することをお勧めします」と語るのは、2015年に入居した今西親子さん（78）。40代から老後のプランを立て始め、夫に先立たれてから3カ月後に具体的な行動を起こした。

「新聞社主催の有料老人ホームをテーマにしたセミナーに参加しました。ライフ・イン京都は重要事項説明書が一番しっかりしていましたし、初期償却がないのも、経営が安定している証拠だと考えました」

見学したその日に、すぐさま入居を決めたという。

「ロビーが明るくて開放感があり、スタッフの方たちが笑顔であいさつをしてくれ、一日中明るい気持ちで過ごせます」

今西さんは、入居を決めると半年をかけて和風の部屋を洋風にリフォームした。LDKの居室に広々としたテラスがあるタイプの部屋で、テラスでは40鉢以上の植物を育ててガーデニングを楽しんでいる。

# 京の町並みを一望する好立地と温かな心遣いの下で暮らす清々しさ

シャトルバスで15分の阪急桂駅から京都四条烏丸まで電車で10分、大阪・梅田へは30分。立地条件に恵まれたライフ・イン京都は、31年の歴史を持つ介護付き有料老人ホームのパイオニア的存在だ。歴史に積み重ねられた経験が大きな財産になっている。

20㎡の広々としたテラスで40鉢以上の植物を育て、ガーデニングを楽しむ今西親子さん



「スタッフの方たちと触れ合う中で、主人の言葉の力が少しずつ改善されています。365日デイルームに行くことで、少しずつ話ができるようになってきました。そのおかげで、私は自由な時間も持てるようになりました」と、山口三知子さんと裕さん



施設主宰の他に、入居者たちが自主的に立ち上げたサークルも多い

また、今西さんはカラオケ同好会の発起人の一人でもある。「ライフ・イン京都に入居してから、カラオケが好きな方がいらつしやることを知り、それならば同好会をつくらうとお声掛けをしました」

こうした活動を支援するため、ライフ・イン京都では、地域コミュニティの情報提供や送迎サポートなども行っている。

山口三知子さん（78）は、要介護3の夫・裕さん（85）の介護をしながら社交ダンスやパソコン、手芸などのサークルや友達との外食も楽しんでいる。

#### ライフ・イン京都 施設の類型および表示事項

- 類型/介護付き有料老人ホーム（一般型特定施設入居者生活介護） ■居住の権利形態/利用権方式
- 利用料支払い方式/全額前払い方式
- 入居時の要件/入居時自立・要支援・要介護
- 介護保険/京都市指定介護保険特定施設（一般型特定施設） ■介護居室区分/全室個室
- 介護にかかわる職員体制/2：1以上

ライフ・イン京都の設計は、旧毎日新聞ビル、京阪宇治駅、南海特急ラビート（車両）などで知られる建築家・若林広幸氏の手による個性的な建築だ

「私の父がライフ・イン京都で13年間お世話になりましたから、このサポート体制が充実しているのはよく知っていました。私たちも自分の人生の幕引きは自分たちでしたいと思い、退職後の生活はライフ・イン京都で、と考えていました」

2人の息子さんたちも、その思いを理解し応援してくれた。「夫は入居後、認知症を発症しました。自宅介護なら趣味やお友達と会う時間をつくるのは、まず無理。ここではスタッフの方にひと声掛けておけば、安心して自分の時間を楽しむことが

できます。介護が必要になってから入居を考えるのではなく、自分の生活を楽しむために入居を考えることをお勧めします」

**医療・介護支援から看とり、共同墓所まで**

看護師として働いていた今西さんは、医療提携の充実度も魅力的だという。

「24時間365日体制で介護・看護師が常駐していること。介護職員は介護福祉士など有資格者が多いのも安心です」

館内の診療所に加え、隣接する京都桂病院も人間ドックや入院の受け入れをしている。山口さんも、「大きな病院は予約がある

っても待つことが多いのですが、こちらではご自身で行くことが難しい方は（スタッフの方が予約を入れてくれ）時間が来るまで自宅で待つことができます。具合が悪いときにそれほど待たずに受診できることは大きなメリットです」と言う。

また、ライフ・イン京都では敷地内に「ケアセンターこすもす」と「ケアセンターひまわり」を持つ。居室内での生活が難しくなれば両ケアセンターへの住み替えも可能だ。さらに共同墓所を持つのもライフ・イン京都の特徴。青山薫ホーム長は、「ホーム内の和室やゲストルームで家族葬をなさるご家族もいらつしやいます。月に1度は職員と

入居者の有志の方で墓所へお参りをし、5年に1回は慰霊祭を執り行っています」と言う。

京の町並みを望み、自然と共に清々しく暮らす。ライフ・イン京都は、自分らしい人生を全うする人のための最良のステージなのだ。



ライフ・イン京都 青山薫 ホーム長



遠くに比叡山、東山から京都タワー、手前に桂離宮を眺めることができる。夏は地域住民と入居者が一緒にビアガーデンを行い、大文字送り火を鑑賞するイベントも開催している。写真は入居者の原画を清水焼の陶板で焼いた展望図



ベッドルームと和室があるゲストルームで家族葬を行う家族も多い



看護師が24時間常駐するナースステーション。きめ細かなケアと医療サポートを実践している



介護福祉士、看護師、理学療法士、フロントや送迎業務など多くのスタッフが入居者の毎日をサポートしている



サークル活動の練習や発表会など、入居者がよく集う多目的ホール



介護予防のための「男性のための体操教室」。入居者の参加率も高い

問|い|合|わ|せ|先

社会福祉法人京都社会事業財団 ライフ・イン京都

〒615-8256 京都府京都市西京区山田平尾町46-2

☎0120-406-140

http://www.lifeinkyoto.com/